

当社社外取締役 川谷充郎氏が「令和2年度土木学会賞功績賞」を受賞されました



表彰理由

川谷充郎氏は、構造工学分野において、橋梁の交通振動、風工学、信頼性設計論の進展に貢献されました。特に橋梁交通振動に関して、桁橋の非定常連成不規則振動現象を厳密に解く理論を編み出し、その一連の成果に対して田中賞が授与されております。

その後、振動使用性、車両載荷時の地震応答、環境振動影響(地盤振動、低周波音)に研究領域を拡げ、近年は橋梁振動データによる損傷推定に取り組まれました。

また土木学会の理事を二度務められております。一度目(関西支部幹事長を兼務)はコミュニケーション部門を担当し、学会内外の意思疎通と理解を得ることに貢献されました。二度目は副会長・総務主査理事として、理事会運営改善に積極的に発言・関与されました。

40歳代のときには、関西支部のFCC(Forum Civil Cosmos)の初期代表幹事を務め、またFCCを母体としてCVV(退職土木技術者のボランティア活動)の発足に関わり、現在もCVVの活性化に貢献されております。

以上のように多岐にわたる活躍をされ、令和2年度土木学会賞功績賞にふさわしいと認められました。

略歴

- 1974年 4月 大阪大学工学部助手
- 1988年 6月 同大学工学部助教授
- 1999年 4月 神戸大学工学部教授
- 2007年 4月 国立大学法人神戸大学大学院工学研究科教授
- 2015年 4月 同大学名誉教授
- 現在に至る
- 2015年 6月 当社社外取締役
- 現在に至る